

事務所位置など 両町の意見は平行線をたどる

合併協議会廃止の理由

両町で交わされた協議会廃止に関する確認書には、廃止の理由（以下略して掲載）について「平成17年3月合併を目標に、住民参画によるまちづくり会議を開くなど積極的に進めてきたが、協定項目の内、事務所位置に関しては、小委員会において、両町の意見が平行線をたどり、今年2月以降、小委員会も開かれていない」などと問題となった経過が説明してあります。

また「江府町の住民団体から合併の意思を問う住民投票の要望により、5月23日に住民投票を実施。投票の結果を



最後となった第12回協議会



合併協議会委員（事務所位置小委員会）
細田耕治（根雨）

もっと本音を出し合えば解決できる問題もあったので残念。これから両町とも財政面で厳しくなると思いますが、互いに良いまちになるよう、この教訓を生かさなければなりません。

もっと本音を出し合えば

受け、江府町議会でも単独存続の方針を確認」と廃止の理由が書かれています。
理由書の最後には「同じ郡内のまちとして、引き続き協力の体制のもと、住民サービスの維持、向上に努めていきたい」とあり、「両町長が確認書を互いに交わし、今後の両町の協力体制についても確認し合いました。」

6月10日に協議会廃止 約10か月で幕を閉じる

合併協議会での廃案に関する了承、両議会での廃止議決

で、昨年8月に立ち上げられた「日野町・江府町合併協議会」は6月10日に廃止。これまで約10か月の間、両町を対象にした全世帯アンケートの実施や新町名称の募集、各種合併協定項目の検討（25項目のうち14項目について確認済みまたは提案中）など11回にわたって開かれてきた合併協議会の廃止届と合併重点支援地域の解除願いを県に提出しました。

これにより、同事務局に派遣されていた職員（日野町2人、江府町2人、県1人）の派遣は解除されました。



開票される江府町住民投票。反対が多数

民意を反映し「単独決定」 予想どおりの結果に

日野町と江府町の2町合併の結果は、江府町住民投票の結果がすべてでした。
結果については、こうなってしまうのではないかとこの感じが事前に漂い「わざわざ財政難のまちといっしょになっても」「何もかも日野町側になんて納得できない」などの声もありました。

投票を呼び掛ける運動はありましたが、推進派、反対派の対立のない静かな投票は、合併への不信感が振り払われ、ことなく、予想された結果になってしまいました。

江府町と比べ

日野町はそんなに財政難なのか

単年度決算の試算

両町とも17年度から赤字

日野町は、江府町と比べてそんなに財政難なのか。と疑問が持たれますが、合併協議会が作成した両町がそれぞれ単独だった場合の一般会計財政推計を見ると、単年度決算では、日野町は平成17年度決算時から収支が赤字で、平成29年度から黒字に転じる試算。江府町は、同じく平成17年から赤字。それ以降継続して収支が赤字になっていくという数字が出ています。

まちの貯蓄ともいえる基金は、日野町が平成19年度時点で赤字。江府町は平成21年から赤字に転じるという結果が出ています。ただし、これらの数字は、平成17年度以降、普通建設事業費は0円、節減努力は一切見込まないなどあくまでも試算されたものです。また、まちの借金ともいえる地方債の現在高は、平成14年度決算時で日野町が61億1024万3千円、江府町が67億394万5千円という数字